

## 75 まとめの時期だからこそ

昨夜は大きな、突き上げるような揺れを感じ、11年前を思い出させるような一夜でした。市内でも地域によっては停電や断水の被害が出たようですが、なにより宮城・福島を中心とした大きな揺れを経験された皆様に、お見舞いを申し上げるとともに、余震等にはこの先しばらくはご注意くださいようお願いいたします。

さて、各学年・学級では、学習のまとめが行われているところです。1年生はこの入学してからこれまでを振り返って、できるようになったことを。2年生はかけ算九九を習得して九九マスターの称号を。3年生は来年のクラブ選びやわり算・筆算の見直しを。4年生は10歳を祝う会で自分の成長や周りの人たちへの感謝を。5年生は6年生から委員会やクラブ、たて割りグループの引継ぎを。6年生はまさに卒業式に向けて。個別支援学級は「6年生を送る会」を進める役割分担をして、一人一人が責任を果たす経験を。

こうした動きの中、少し気持ちがフワフワとなっている子や逆にしっかりやらねばというプレッシャーを感じている子、中には、まとめの時期は次の始まりということで、不安を感じる子もいます。こうした一人一人の気持ちの変化に気づき、寄り添うことが「児童理解」につながるのだと思います。しかし、担任だけでは十分とは言えません。令和3年度、残りが少なくなってきたからこそ、しっかりと一人一人と向き合っていくためにも、子どもたちの一番近いところにいらっしゃるご家庭のご協力が欠かせないのです。